

地域ぐるみネットワーク ふれあい会議

～高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすために～

B 圏域(白井第三小・大山口小・清水口小・七次台小) 第1回報告

平成 28 年 2 月より始まった介護予防・日常生活支援総合事業においては、生活支援サービスを生み出すための協議体を作ることが求められるようになり、白井市では地域ぐるみネットワーク会議の機能が協議体にあてはまっていることから、学校区単位をベースとする「**第 2 層協議体**」として位置づけられました。

今年度より、地域ぐるみネットワーク会議の運営主体が地域包括支援センターから、社会福祉協議会に移行し、**生活支援コーディネーター**が配置されました。

生活支援コーディネーターは、地域ぐるみネットワーク会議を運営し、高齢者の暮らしを支えるための住民などの多様な主体による支え合い活動創出のお手伝いをします。



7月21(木)に、第1回目の話し合いが行われました。市民・民生委員・介護保険サービス事業者・民間事業者など、様々な立場の方48名が参加してくださいました。改めて、地域ぐるみネットワーク会議のあゆみや会議の位置づけなどについて説明を受けた後、各グループに分かれて話し合いを行いましたのでご報告いたします。

1. 「地域ぐるみネットワーク ふれあい会議」について

(白井市地域包括支援センターから)



～私たちの目標～

年齢を重ねて、病気や認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために「助けられ上手」になり、生きがいを持って暮らせるように「助け上手」になる。

2025年・・・白井市では75歳以上の高齢者の割合が現在の約2倍である16.1%、人数は約10,500人になると推計されています。

高齢者が増えるのはよくないことなの？

メリットも

- ・知識と経験が豊かな市民が多くなる
- ・元気で活躍できるリタイア世代
- ・時間やゆとりを社会貢献や趣味に活用できる

暮らしの見守り・支え合い活動

- 住民・民間事業者・NPOなどの多様な担い手による
- ・見守りや安否確認
 - ・外出支援
 - ・地域のサロン
 - ・家事の手伝いなど

高齢者の社会参加



ふくまる

地域ぐるみネットワーク会議や生活支援コーディネーターが応援します

それぞれの立場から、地域で取り組んでほしい活動について提案がありました。

2. 救急から (西白井消防署)



救急からは、独居高齢等の救急搬送時の困りごとについて話がありました。救急車が到着しても、連絡先や、かかりつけの病院、服用している薬などの情報がないため、病院への搬送が遅れてしまい、治療に支障をきたすことも。

他市では、緊急連絡先を記入した用紙をボトルに入れて冷蔵庫の中に保管するなどの取り組みがされている。

緊急時の連絡についてこの会議の中でもぜひ取り上げてほしい。



ペットボトルを再利用するなど、手作りすることもできます。サロンなどでみんなで作ってみるのもいいかもしれませんね。

3. 生活困窮について (白井市保健福祉相談室)

生活困窮家庭の現状

- ・不安定な家庭環境により、子どもは学習習慣や基礎的学力の習得が困難な状況に陥りやすい。
- ・保護者などが仕事や生活に追われ十分に向き合う時間が取れず、子どもの自己肯定感低下や健康問題の発生につながる恐れがある。



- *保護者・・就労、各種保健福祉サービスの支援等
- *子ども・・居場所・学習・食事などの支援



《地域で子どもや家庭を支えていく活動ができないだろうか》

4. グループワーク 各地区の課題を中心に話し合いをしました。

Aグループ 大山口小学校グループ

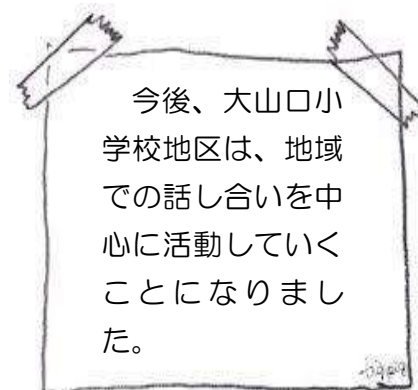
・行政計画、地域福祉計画などでもヒアリングをしており、課題はすでに出ている。

⇒ 出ている課題に優先順位をつけて、テーマ設定をしたらどうか。そのためには、任意で集まるだけでいいのか？



自治会・民生委員等の幅広い参加が必要なので、市や社協にPRをお願いしたい。

大事なことは、誰が担い手となっていくかである。



今後、大山口小学校地区は、地域での話し合いを中心に活動していくことになりました。

担当：米澤・竹内

B-1グループ 白井第三小学校区

* 安否確認の仕方を考える

- ・緊急連絡先・かかりつけ医などの情報をわかるようにする。
- ・オレンジ手帳の活用。

* 家事支援

- ・掃除など簡単な家事を手伝ってもらえるとよい。

* 食事支援

- ・母子家庭などで三食とれているか心配。→場所があればよい。
- ・独居高齢者の食事も心配。

* 交通

- ・交通手段が少ない。
- ・木下街道が狭い。
- ・高齢者が散歩のとき、休憩場所がない。

* 高齢化で自治会役員のなり手がない

担当：高平

交流の場の確保



- ・子どもと高齢者が交流できる時間があるとよい。
- ・子どもたちの遊び場がない。
→富士公園が早く開設できたら。
- ・地域の子どもたちに勉強を教える人がいるといい。
- ・地域ごとの交流がない。
- ・茶話会などで気軽に集まれる場所があるとよい。
- ・空き家の利用ができないか。

B-2グループ 富士ひだまりサロン

次回開催日

日時 9月30日(金) 13:30~15:30

場所 愛の家グループホーム 白井富士

昨年3回開催してみて・・・

- ・「男性を誘い出そう」と始めた→徐々に増加。夫婦の参加も。一芸を披露する機会があれば参加してもらえるのでは。
- ・「おしゃべり」がしたいことがわかった。
- ・参加者と、入居者の交流や理解がはかれた。 担当：福留

C-2グループ 清水口小学校区

高齢者

- ・独居で近所付き合いのない人とのかかわりが作れない。
- ・地域で、医療・福祉の情報共有が必要。
- ・高齢者への声のかけ方が個人情報の関係で難しい。(プライベートプライド)
- ・独居の方の**家族への連絡先**の把握

子ども

- ・共働きの家庭では、子どもが親を待っていてなかなか帰宅しない。
- ・子ども会など子どもたちが集える場所が欲しい。
- ・西白井地区からの通学路が危険を感じる。



サロン・サークル

- ・サークルの横の連携がない
- ・家の一部を借りて、開催できないか。

地域の課題

担当：鈴木

子どもの貧困

- ・**子ども食堂**の開設

障害者

- ・障がい者の働く場がない。
- ・精神障がいの人の居場所がない。
- ・障がいポーターの子どもの療育施設が不足している。

防災

- ・隣人の様子がわかりにくく、**災害時が心配**。
- ・地震が起きると不安。
- ・空き家が増えて、隣に人がいなくなり不安。

移動

- ・エレベーターのない団地など、**外出が困難**。
- ・通院の足がない。

自治会

- ・自治会をやめる人が多くなり、未加入者が増加。
- ・自治会の担い手が高齢化。

第2回 地域ぐるみネットワーク ふれあい会議

日時： 8月18日（木）
14時～16時

場所： 西白井複合センター
多目的室

*複合センターでみんなの話も聞きたいけど、
地域のみんなで別の日に話し合いをしたいと希
望されるグループは相談してください。
生活支援コーディネーターが伺います！！

C-1グループ 梨の実ひろば

梨の実ひろばを知っている人？参加したことはありますか？の質問には大勢の人が手をあげました。 担当： 山本

認知症カフェ

- ・認知症カフェという名前だと参加しにくい？
- ・認知症予防カフェはどうか？
- ・認知症の病識のない人は？

さらに内容を充実

- ・年に2・3回の講座を開催
（相続税・成年後見制度など）
- ・介護者の息抜きの場になれば。
- ・骨密度検診なども取り入れて開催。

Dグループ 七次台小学校区


私たちが望むこと

- ・高齢者と子どもたちが触れ合えたらいいな。
- ・独居の高齢者に相談できる人ができたらいいな。
- ・話し相手がいたらいいな。
- ・久しぶりに誰かとランチがしたいな。
- ・ふれあいの場（集会所）などがあつたらいいな。
- ・多世代で交流ができたらいいな。



- ・周囲に商店がなく、買い物が不便。
- ・車がないと動けない

- ・小中学生の自転車マナーが悪い。
- ・車がスピードを出しすぎる
- ・住宅街での交通マナーの悪さ

- 
- ・ゴミの分別ができていない人がいる。
 - ・ゴミを出す日、指定袋の間違い。
 - ・未回収のゴミを持ち帰らない。

- ・高齢化に対する住民の危機意識が足りない



楽しみにしていたのに、ハクビシ
ンに食べられた

担当：仲山

会議には、多くの皆さんに参加していただき本当にありがとうございました。

地域福祉を担う社協として、もっともっと地域の皆さんの近くにいる「生活支援コーディネーター」として活動していきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

地域ぐるみネットワーク会議に対するご意見、今後の運営に協力いただけるなどの場合、右記あてご連絡お願い申し上げます。

白井市社会福祉協議会

生活支援コーディネーター 仲山

☎ 047(492)5113 FAX 047(492)3600